

平成28年 第8回会議録	
1. 開会日時	平成28年7月1日(金) 午後1時30分
2. 場 所	峰行政サービスセンター2階第4会議室
3. 出席委員	吉野委員、前野委員、佐伯委員、一宮委員
4. 出席者	永留教育長、須川教育部長、松本次長兼総務課長、平山学校教育課長、平江生涯学習課長、小島文化財課長
5. 会議書記	犬束総務課課長補佐
6. 閉会日時	平成28年7月1日(金) 午後3時3分
7. 議 事	
日程第 1	会議録署名委員の指名
日程第 2	会期日程の決定
日程第 3	教育長諸報告
日程第 4	議案第25号 専決処分の承認を求めることについて (財産取得契約の締結について)
日程第 5	報告第6号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
日程第 6	その他

永留教育長	<p>ただ今から、平成28年第8回対馬市教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>これから、本日の会議を開きます。</p> <p>議事の進行につきましては、対馬市教育委員会会議規則等により進めたいと思います。</p> <p>では、日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。今回の会議録署名委員は、吉野委員さん及び前野委員さんを指名します。よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、日程第2「会期日程の決定」でありますがお諮りします。本会議の会期は本日、一日にしたいと思ひます。</p> <p>これに御異議ありませんか。</p>
	「はい、異議なし」の声
永留教育長	<p>「異議なし」のようです。</p> <p>したがって、会期は、本日、7月1日の一日といたします。会議運営につきまして、御協力方お願いいたします。</p> <p>次に、日程第3「教育長諸報告」を行います。</p> <p>資料の2ページをお願いします。</p> <p>2日に、新任校長校訪問ということで、大船越中学校を訪問いたしました。</p> <p>3日が、同じく新任校長校訪問で、豆殿小学校と大調小学校を訪問しております。</p> <p>5日の日に、いづはら診療所の開所式に参加をいたしました。</p> <p>6日の月曜日、何も書いておりませんが、この日に、市教委と、こども未来課の話し合いを行いました。その中で、比田勝認定こども園の業務分担について話し合いを行っております。</p> <p>7日、午前中、定例教頭会に参加をしまして、午後から清水山城跡現地確認を行いました。部長と参加をしております。</p> <p>8日の日は、比田勝こども園の現地確認を行いました。</p> <p>それから、10日の日は、部長会議に参加をしております。</p> <p>11日が、対馬市スポーツ推進委員研修会、上対馬で行われましたので、これに参加をいたしました。</p> <p>それから、12日に、対馬市中学校体育大会陸上競技大会に参加をして、当初は、12・13日の予定でしたが、雨天によるグラウンドコンディション不良のため延期になって、15日に2日目が行われております。</p>

13日に、市議会の一般質問すり合わせを市長部局と行っております。

14日から市議会が始まりまして、14日は全体会ということで、主に補正予算の提案がありました。教育委員会関係では、峰陸上競技場及びICT教育関係で質疑があっております。

16日は、鶏鳴幼稚園の経営訪問に行きました。

17日が、市議会で会派代表質問ということで、教育委員会関係では、清水山城の保存関係、それから、小茂田浜にあります佐須体育館の取り壊しについての質問があっております。

それから、20日と21日が、同じく市議会定例会で一般質問がありました。教育委員会にも質問がありまして、統合の基本的な計画であるとか、それから廃校になった子どもたちのケアの問題についての質問、それからもう一点は、学力問題と幼少期から行う教育の必要性についての質問がありました。

それから、22日に、新任校長校訪問で、南小学校に終日、訪問をしております。

23日は、午前中に校長会が来庁し、それから午後から対馬市社会教育委員会に出しております。

24日が、市議会定例会最終日で全体会がありました。午後から部長会議に出席をしております。

27日が、特別支援教育連携協議会実務者会議に出席をしております。

そして、28日と29日は、目標管理当初面談ということで、28日は美津島、29日は峰で行われました。校長面談を終日行っております。

それから30日に、対馬市高校魅力化推進懇話会がありましたので、これに参加をしております。

30日と1日に辞令交付を行っております。教育委員会関係で2名の異動があっておりますので、2名にそれぞれ辞令を交付いたしました。

以上で、教育長の諸報告を終わります。

報告事項について、何か質疑等がありましたら、「その他」の項でお受けをしたいと思います。

続きまして、日程第4、議案第25号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

松本次長	<p>議案第25号「専決処分の承認を求めることについて」説明をいたします。</p> <p>対馬市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告し、教育委員会の承認を求めるものです。</p> <p>提案理由を説明いたします。専決第1号、財産取得契約の締結についてでございますが、大船越スクールバスの購入契約の締結に当たり、2,000万以上の財産契約については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は財産処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決が必要なことから、対馬市議会に提案する必要がありました。</p> <p>大船越スクールバス購入にあたりまして、入札が5月31日にされまして、仮契約の締結が6月1日ございましたので、6月1日に開催されました教育委員会におきまして、口頭では報告させていただいておりましたが、改めまして、議会への提出議案につきまして専決処分を求めるものでございます。</p> <p>議会提出議案につきましては5ページに、締結内容につきましては6ページに記載しておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>以上です。</p>
永留教育長	はい、説明が終わりましたので、審議方、よろしく申し上げます。質疑等はありませんでしょうか。
吉野委員	これ60人乗りですが、利用区間はどこからどこまでになりますか。大船越中学校と小学校について、校区内、全部1台でするわけですか。
須川部長	区間については犬吠から大船越小学校と中学校になります。1台で、まずは最初、犬吠から大船越小中学校まで行きまして、もう一回、往復して、2回目で緒方から大船越小中学校に行つて、2往復しております。
吉野委員	朝の便は、1便だけですか。
須川部長	1便です。
吉野委員	帰りは2便にしてあるんですか。
須川部長	<p>3便あります。</p> <p>最初に、往路が、犬吠、緒方、大船越ですね。そして折り返して、女護島、万関、久須保、大船越というふうになります。それで、帰りが、大船越を15時30分が1便、2便が16時で、3便が中学生用になつ</p>

	ておりますが、18時です。
永留教育長	<p>ほかにありませんか。</p> <p>ほかには質疑等ないようですから、これから議案第25号を採決します。</p> <p>お諮りします。議案第25号「専決処分の承認を求めることについて」は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。</p>
	「異議なし」の声
永留教育長	<p>「異議なし」と認めます。よって、議案第25号は、原案のとおり承認されました。</p> <p>続きまして、日程第5、報告第6号「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」の報告を行います。</p>
平山課長	<p>それでは報告いたします。</p> <p>「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」でございます。</p> <p>経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒について、対馬市就学援助事務取扱要綱の規定により、要保護及び準要保護児童生徒として認定したので、別紙のとおり報告をいたします。</p> <p>9ページをごらんください。</p> <p>前回まで準要保護については29名でした。今回、新規の申請はあっておりませんので、そのままです。</p> <p>それから、要保護についても、前回までに1名、認定をしておりますけれども、追加の申請はあっておりませんので、小学校については、前回と同じく、総数が195名となっております。</p> <p>右側、中学校についてです。中学校は、前回6名でしたけれども、新規申請が2名ありまして、2名が追加をされております。それから、要保護については、前回まで4名でしたけれども、今回、新規申請はありませんので、結果的に準要保護が2名ふえまして、総数142名となっております。</p>
平山課長	<p>ただいまの報告に加えて、前回、質問を受けていた事項がありましたので、加えて説明を続けたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
永留教育長	はい。
平山課長	<p>準要保護の規定が、どうやって決められているかという御質問をいただきました。確認をいたしましたので報告します。</p> <p>まず、その生活状況について、世帯の確認をしていくわけですが、まず第1点、食費です。食費を年齢の区分によって、1人当</p>

	<p>たりいくらという年間金額を算定しております。</p> <p>それから2点目に、光熱費、衣服費、雑費ということで、これら3つのものをまとめて、1年間の基準額というものを、世帯数で基準を出しています。</p> <p>次に、3つ目として、教育にかかる費用ということで、教育扶助ということで、小学校1人当たりいくら、中学校1人当たりいくらというふうな算定基準額がございます。</p> <p>それから4つ目です。住宅扶助というのがあります。これも、月額の上限を4万2,000円という金額で、12カ月という形での算定基準が出ております。</p> <p>プラス、子どもが何人いるかということで、加算額というのがあります。例えば、35歳の夫、34歳の妻、小学生が2人プラス乳児が1人いるというような5人世帯であれば、これらの計算をしますと、年間の基準額が350万3,550円というふうになります。</p> <p>この算定額に基づきまして、この基準額に満たない世帯であるという場合、あるいは、超えているけども非常に近いという場合には協議をし、準要保護という認定を出しているということを御報告をしておきたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
永留教育長	はい、報告が終わりましたが、この件に関して質疑等はございませんでしょうか。
一宮委員	前回、質問をいたしましたけども、丁寧にお答えいただいて、わかりやすい説明をありがとうございました。お礼を申し上げます。
永留教育長	<p>じゃあ、ほかに質疑等ないようですから、報告第6号「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」の報告は終了いたします。</p> <p>続きまして、これから日程第6、「その他」の事項に移ります。</p> <p>事務局から、何か「その他」の事項でございませんでしょうか。</p>
須川部長	<p>それでは、私のほうから、組織改正に伴う人事異動が、7月1日付であっておりますので、紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>教育委員会関係だけになりますけども、まず初めに、学校教育課の米田里美係長が市長部局の中対馬振興部住民生活課へ異動になっております。</p> <p>それと、美津島地区生涯学習センターの松島哲也係長が、同じく市長部局の福祉保険部の保護課のほうになっております。その2人の方のかわりに、今度、教育委員会へ、市長部局の美津島行政サー</p>

	<p>ビスセンターから、梅野秀樹課長補佐が、学校教育課に異動になっております。それともう1人、同じく市長部局の福祉部保護課から、黒岩公人係長が、美津島地区生涯学習センターに異動になっております。</p>
永留教育長	<p>ほかにありませんでしょうか。</p>
平山課長	<p>市議会議員の皆様から、教育委員会のほうに、対馬市のICTの整備計画をどのように考えているかという説明を求められております。</p> <p>お手元に、対馬市学校情報化推進計画という資料をお配りしております。</p> <p>これを議員のほうにお渡ししていかどうかということを決定いただきたいと思います。</p> <p>内容について少し説明をさせていただきます。</p> <p>めくっていただいて、皆様も御存じのとおり、情報通信機器の進歩が目まぐるしく進展していく中、学校教育においても、これらを活用し、わかりやすい授業をすることはもちろんですが、学力の向上でありますとか、こういった機器の社会の中の情報化、社会の中で適応できる児童生徒を育むという視点から、この推進計画を立てております。</p> <p>計画期間としては、28年度から32年度まででございます。</p> <p>基本的な考え方ということで、そこに基本方針を1から6まで、載せております。</p> <p>基本方針の1としましては、教科指導におけるICT機器の活用と体系的な情報教育の推進ということで、さまざまな授業の中で活用し、よりわかる授業、授業改善に図っていこうというのが、1点目でございます。</p> <p>それから、基本方針の2としまして、校務の情報化の推進ということで、それぞれの学校の教職員の事務負担の軽減につなげるために、こうした情報機器を活用していくという目的があります。</p> <p>3点目です。特別支援教育における情報化の推進ということで、さまざまな課題を抱えている子どもたちでありますので、個々の実態に応じた学習指導を見る際に、こうした機器をうまく活用しますと、少ない人数でも、個々に応じた指導ができるということで、基本方針3に上げております。</p> <p>基本方針の4としましては、こうしたICT環境を学校で整備することによって、児童・教員が、安全な使い方をすることを学ぶ場</p>

として、これを使っていくこととしております。

それから5番目としまして、教育の情報化を推進できる人材ということで、特に教職員、これら機器をうまく使いこなし、子どもたちに指導ができるようにするという目的を上げております。

最後に、基本方針の6としまして、教育の情報化を支える体制の充実ということで、内容的に、教育内容の充実につなげるために、こういった機器類の活用をしていきたいというものでございます。

大きな4番目で、ICTの環境ということで、ICT機器というのはどういうものかといいますと、まず、分類として、教育指導用としましては、電子黒板と言われるもの、テレビのちょっと大型のものだと思ってください。あるいは実物投影機、手元にある資料が、テレビとかで大きく見ることができると。デジタルテレビ、教育用パソコン、それからデジタル教科書というのは、教科書の内容がパソコンで、テレビ等を使って、教材文とか教材資料とか、そういったものが、テレビでぼんぼんと大きく見せることができると、そういったものです。あるいは、子どもの進度に応じて、次々に問題を先に進めていったりするとき、このデジタル教科書であれば、その子のスピードに応じた問題を選択して先に進むというようなことなどが、可能となっています。こういったものを整備していきたいということ。

それから、校務用としましては、校務支援システムというのがありますので、児童の出席でありますとか、出欠関係とか、指導要録、あるいは通常、行っている学業の成績等をつくる際に、このシステムを使いますと、短い時間で多くの成績管理をできるということで、活用を行います。

その他校務用パソコンということで、先生方が、日常、業務で必要な処理をするためのパソコンを配置するというふうにしております。

これらには、一番最後にネットワークと書いてありますがけれども、校内でのネットワークが不可欠ということになりますし、インターネット等、通常に学校以外でもつながるネットワークを組むことが求められています。

4ページをごらんください。

6番になりますけれども、第2期教育振興基本計画で、これらの水準を達してほしいということが示されています。

そのICT環境の整備目標として、上から4行目ぐらいから書か

れてありますけれども、教育用コンピューター1台当たりの児童生徒数を3.6人、校務用コンピューター教員1人1台、それから、超高速インターネット接続率及び無線LANの整備率を100%、それから電子黒板・実物投影機の1学級当たり1台といった指標が、ここで示されておりますので、今後、対馬市としても、この基準に見合うように整備を進めていくという考え方でおります。

5ページ、一番最後の一番下の文書になりますけれども、この教育委員会においては、計画の進捗状況を定期的に確認をしたり、外部環境の変化を加味した評価等を定期的に行っていく必要があるかと思っております。

6ページ、7ページは、機器についての説明ですので、省略させていただきます。8ページをごらんください。

導入の今のところのおおよその見込みです。平成28年度、今年度につきましては、議会の予算承認がつきましたので、研究指定校2校を示しております。

学校は豆酏小学校と今里小学校です。いずれも複式学級を抱えておりますので、2学年1学級で勉強している環境の中で、より子どもたちの学びが深まるように、いかにこのICTを使っていけばいいかということが、研究のメインとなっていきます。

それから、実物投影機について、既に活用している学校が多いわけですが、未整備の学校については、今後、整備をしていきたいと思っております。

高速無線LANについては、さくさくインターネットがつながるということですが、30年度までにその環境を整えていくということを考えております。

それから、タブレットPCですね、手元でノートのように使えるパソコンですが、今回、指定を受けました今里小と豆酏小には、8台ずつ入りますが、その他の学校については、機種選定をした後、平成30年度以降、随時、導入していくという計画になっております。

デジタル教科書は、その1年後からということで考えております。

先生方のパソコンについては、随分、年数が来ているということで、入れかえが必要ということで、29年度から一斉導入、総務課が中心になろうかと思っておりますけど、考えてくださっているというふうになっております。

一番最後、8ページに載せておりますけれども、昨年度も、東部

	<p>中学校で、こうしたタブレットを使った授業等をしていきましたけれども、結果的には、やはり教職員の意識変化、それから児童の学力向上につながっているという成果が出ておりますので、この整備について、市教委としても前向きに進めてまいりたいと思います。</p> <p>この資料について、議員さんのほうに、配布してよろしいか許可を求めたいと思います。</p>
永留教育長	<p>ただいま説明をいただきましたけれども、この学校情報化推進計画について、何か質疑はございませんでしょうか。</p>
吉野委員	<p>豆殿小、今里小の指定についてですが、今里小は、二、三年前にパナソニック財団から支援を受けて、機器はそろってるんじゃないですか。</p>
平山課長	<p>台数としては、そんなにないと思います。</p>
吉野委員	<p>ここで気になるのが、今タブレットを持っているのに、またここに8台もそろえるということは、耐用年数はそんなに短いもんなんですか。</p>
平山課長	<p>そういう機器は次々にスピードとかも上がっていきますし、容量とって、いろんなウンロードした資料を保存しておく容量も、年々よくなっていっていますので、今回、使うパソコン、タブレットのほうが、前回より優秀な機器になります。</p>
吉野委員	<p>二、三年前に、今里小は、そういう指導を受けた経験があるのに、もう一度、また今里小ということになるので、ほかの学校にしたほうがいいと思ったものですから。</p>
平山課長	<p>これは、全ての学校に指定の希望をとりまして、全ての学校に希望はないかということでとらしていただいています。</p> <p>その中で、結果的にいうと、今里小だけが手を挙げて、自分たちの実績もあるので、さらに高めたいという状況でした。</p> <p>あと1校、どうしても、こちらとしても研究を進めたいということで、豆殿小学校のほうに声かけをして、ぜひ学力向上につなげてほしいという依頼をしております。</p>
吉野委員	<p>そういう状況なんだろうけど、今里小が重複するような感じだったから、ちょっと質問をしました。</p>
平山課長	<p>また、職員が入れかわっておりますので、前回の成果をさらに上げて、全体に広めたいという気持ちを持っていただいております。</p>
佐伯委員	<p>いつも、情報関係になると、私、後ろ向きな発言が多くて申しわけありません。</p>

	<p>先般、佐賀の教育委員会の発表がありましたとおり、どうしても、情報機器については、情報漏えいの危険性が常につきまとうものなんですけれども、この計画の中では、導入はあるんですけれども、そのセキュリティー面に関する記述が、余りちょっと見られないというのが、すごく不安を覚えました。</p> <p>セキュリティーといっても、そのパソコン単体とか、ネットワークだけに限られたものではなくて、できれば教職員、子どもたちの基本的な使い方、人の動きまでを含めた評価を一度、どこかで専門家に見ていただく等の対策をしておかなければ、今後、弱いところから情報が漏えいしていくという、世の中になってきておりますので、対馬市が、そういうふうなことにならないか、子どもたちの大切な情報を守っていくためにも、もしよろしければ、予算建てはないと思うんですけれども、そういったところも要望としてお願いしておきます。</p>
平山課長	<p>既に、学校のほうは、コンピューター関係は使用しておりますので、対馬市のほうもモラルについて、あるいはその使用の規定については、きちんとしたものをつくっております。</p> <p>ただ、確かに、だんだんこれが進んできまして、この間も、17歳が侵入してというような時代になってきましたので、その情報の漏えい対策については、レベルも上げるように、今後もまた総務課とも相談しながら、この件については検討を加えていきたいと思います。</p>
一宮委員	<p>すみません。先ほど吉野委員の質問にまた続くということになると思うんですけれども、私も、これを見たときには、電子黒板が豆殿小と今里小の2校ということで、理由は複式というので、そのあたりということでお聞きしてわかりましたけれども、中学校はなぜないのかなというふうに思っていたら、先ほど全ての学校に希望をとったら、手を挙げたのが、今里小だけだったということですね。</p> <p>ということなんですけれども、現場は、そういうふうに希望がなかったということは、もう一つ疑問なのは、ICTの推進のモデル校になった東部中から、手がどうして挙がらなかったのかなというのが、一つ大きな疑問ですね。</p> <p>それと、現場で、そういうふうに、このICT教育を推進していく部分での教育効果を本当に図ろうという意識があるのかどうか、そのあたりも含めて、ちょっと質問をしたいなと思えますけど。</p> <p>といいますのは、もう一点は、伏線といたしまして、教師自身も、</p>

	<p>実際、コミュニケーション能力という点では、最近、非常に薄い教員もふえておりますし、まして今度は、対馬市は小規模校が多い。その中で、中・高・大と進んでいく中で、非常にコミュニケーション能力の低い子どもたちが、最近、ふえているんじゃないかなと思います。</p> <p>そのあたりの人としてのコミュニケーション能力の育成と、このICTを推進していく部分のそのバランス感覚と申しましようか、現場の多忙性と申しましようか、そのあたりはちょっと気になりますので、そういう質問をさせていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
平山課長	<p>説明が足らずに申しわけございませんでした。</p> <p>東部中につきましては、もう皆さん御存じのとおり、県の指定を受けまして、昨年度まで、さまざまな授業の場面で、タブレット等、あるいは電子黒板等を使っている状況を全島の先生方に公開をし、2年間、中学校であれば、こういう使い方ができるという実践を紹介し、先生方に深めていただいたところです。</p> <p>今回、指定が終わりまして、対馬市としては、小学校の複式学級が半数に上っておりますので、こういった学校でも、ICTを使うと、その授業効果を一層高めることができるのではないかとこのことを、対馬市として、まずそこを深めてみないと、今後、全ての学校に、タブレットや電子黒板を入れていくことになるわけですが、効果の見込みがないのに、入れていくということはできませんので、これまで複式を抱える学校で、この使用について効果があるという実績を上げておりませんので、その研究を進める意味で、小学校の限定をし、なおかつ複式がある学校で希望を募らせていただいて、この学校2校になったということで了解ください。</p> <p>東部中学校は、この2校の研究指定にかかわって、研究協力校という指定をまた改めてさせていただいておりますので、昨年までの実績をこの2つの小学校に伝えていただく、生かしていただく、指導をしていただく。こういうタブレットの使い方がありますとか、こういう電子黒板、こういう場面に使うと効果的だという、実績を上げたことについての指導を、東部中からこの2つの小学校に、今後いただくというお願いをしております。</p> <p>それから2点目に、コミュニケーションについての御心配をいただきました。</p> <p>これは、全ての島内の学校が、子どもたちは島暮らしといえます</p>

	<p>か、少ない人数の中で暮らしているということで、やはりコミュニケーション能力については高める必要があると、全ての校長が、学校経営課題として上げているというのが実態ですし、全ての学校で、さまざまな発表場面の設定であるとか、そこに至るまでの言語活動の充実でありますとか、学校ならではの取り組みがなされております。</p> <p>このパソコンを使うことで、コミュニケーションをとる場面が一層ふえる。あるいは、このパソコン等を使うことで、より発表内容が充実したりという方向に、このICTが使われることを、こちらとしては期待をしております、機器の活用により、子ども同士の会話が、あるいはコミュニケーションが減るという方向は考えておりません。そうならないように気をつけていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
一宮委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>関連で、私は、東部中学校のICTの研究発表等に参加させていただいたときに、ここでタブレットが必要なのかなと、自分で手を挙げて発言をする力というものの育成が必要だと、わざわざ人数が少ないのにタブレットを使用するという、その現状をずっと見てきて、果たして、この対馬のこの状況に合うのかなって、疑問をずっと今でも持っております。</p> <p>東部中学校は、研究協力校として、その今里小と豆敷小にさせていただくのは、非常にいいことかなと思いますので、それはすばらしいと思うんですが。</p> <p>東部中学校は、せっかく2年間していただいて、2年間で終わるんじゃないかと、その学校が、教員も変わり、いろんな内容も変わる。対馬の学校にも、このICT推進、タブレットなり云々は、電子黒板も必要ですよという自校の研究を持続してほしいと思います。</p> <p>協力校というのは、ICT支援をどなたかやれば、そこもできますので、何かそのあたりの対馬ならではの実績をきちんとつくっていくということが必要だと思います。果たして、このICTにしましても、コミュニティ・スクールにしましても、非常にそのあたり、対馬市内の考えをしっかりと持っておかないと、時代の流れに沿ってやらないといけないからやるのではなく、本当に今でも統合がふえているこの現状の中で、対馬の子どもも、どういうふうに生きる力をつけるのかという部分では、表面的なICTと、どうも合点がいかないので、ちょ</p>

	<p>つと発言をさせていただきました。 以上です。</p>
永留教育長	<p>貴重な意見ですけれども、意見として聞かせていただきます。</p>
一宮委員	<p>はい、結構でございます。</p>
永留教育長	<p>あとは、また、学校教育のほうで、それを生かしていければと思います。 ほかにございませんでしょうか。 じゃあ、ないようでしたら、この学校情報化推進計画を外に出していいか、議員さん方にこれを配っていいかお諮りをしたいと思います。外に出すことに対して御異議ありませんでしょうか。</p>
	<p>「なし」の声</p>
永留教育長	<p>「なし」ということで、今後は外部にも、この推進計画を出すことがあるということに進めたいと思います。 ほかにございませんでしょうか。</p>
須川部長	<p>すみません、私のほうからもう一点、お知らせになるんですけれども、市役所の総務部総務課のほうから連絡が来まして、社会貢献事業としてNTT西日本のほうから、避難所に公衆電話を設置してはどうかということで、案内が市のほうにあっているそうです。 その公衆電話ですけども、災害発生時に避難所に臨時に設置する公衆電話で、避難所に避難している方や被災者の安否確認、通信の確保を目的に使っていただきたいということです。 災害時にこの電話は、一般電話に比べてつながりやすいということもあるし、避難所が開設されたときには、無料で利用できるということです。 今後、関係機関と設置に向けて協議をしていきたいということで伺っております。 設置方法については、施設内にモジュラーjackを整備して、災害発生時に通話を可能とするということです。 費用については、配線工事はNTTさんのほうで負担しますよということです。 その設置する場所ですけども、市内の避難箇所の中で、庁舎であったり公民館であったり、学校教育関係は、学校の体育館に設置させていただきたいということで、予定であっております。 スケジュールといたしましては、リストの関係で、市が上げている希望箇所が、公民館や学校体育館などで58ヶ所上げているそう</p>

	<p>です。</p> <p>7月に設置場所の選定をするそうなんですけども、大規模な工事の費用がかかる場合には、ちょっと精査をして、40ヶ所程度にするかもしれないということです。</p> <p>それと、特に学校の体育館が絡みますので、ここについては、夏休み期間中、7月から8月にかけて、一応、現場調査をさせていただきたいということです。</p> <p>協定の締結を9月ごろに結びまして、12月ごろまでには配線工事を済ませたいということです。</p> <p>この公衆電話ですけれども、非常時専用電話なので、平常時は利用できませんということで、発信専用で、停電時でも使用はできるというものです。</p> <p>あと、その問題になってくるのが、この電話機をどうするのかということになりますが、市のほうで、例えば58カ所分の電話機を買おうと予算が結構かかりますので、そこら辺が今後どうするのかを、ただ今検討中です。</p> <p>学校では、校舎に設置されている電話を、災害時にそれを持って行って、モジュラーに接続して使用方法もあるのかなということで考えております。</p> <p>また詳細なことが決まりましたら、お知らせをさせていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
佐伯委員	<p>避難所等については、もちろん市役所職員の皆様も、実際に、避難現場に行かれて経験がおありかと思うんですが、社会福祉協議会等は、そういったところのノウハウは、かなりたくさん持っているはずなので、もしよろしければ、どのような注意点があるかというようなことだけでも、情報交換をしておかれたらよいと思います。</p> <p>後々、実際に使うときになって、ここはこうだったなというような失敗が少なくなると思いますので、情報提供をさせていただきました。</p>
永留教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに事務局から何かありませんか。</p>
平山課長	<p>前回の教育委員会会議の折に、2点質問事項がありました。</p> <p>一点は、教職員のストレスチェックの項目です。2点目は、学校支援会議のお尋ねをいただいていますので、報告をさせていただきたいと思います。</p>

まず、教職員のストレスチェックですけれども、これは、従業員50人以上の事業所においては義務づけられておりますけれども、50人未満の事業所は努力義務となっておりますので、島内の学校においては、この努力義務の範疇でやっています。したがって、やっている学校とやっていない学校があるというのが現状です。

実施をしているという学校が3校ございました。そのやってみての効果として報告が上がっているのは、まず管理職として教職員の心身の状況の把握ができるということ。それから、このチェックをしている段階で、職員自身が、自分自身の心身の状況を知ることができるということ。それから、職員同士の理解へつながっているということ。また、ストレスの解消方法等についても知ることができるという効果の報告をいただいています。

今後、そのやり方等を確認しまして、学校等に広めていけたらと思っています。

それから、2点目に、学校支援会議の状況についてですけれども、全ての学校で、学校支援会議は発足をしております。人数ですけれども、最大の人数の学校は28人というところがありました。28を筆頭に、支援会議の構成員が20人以上いる学校が、全部で9校ありましたので、32分の9校ということで、3分の1ぐらいは、多くの方を招いて、この支援会議を実施し、学校の経営方針の説明をし、地域の方々から、学校の運営についての助言等をいただいているということでもあります。

この構成員の役職等で一番多かったのは、まず学校評議員さん、それからPTA役員さん、民生委員さんなどでございました。育成会役員も結構多かったと思います。

会議の回数としては、年間2回というところが半数以上でございました。3回というところも、やや多かったように思います。

それから、小中、もう距離的に非常に近い、保護者の多くが重なっている学校においては、合同でしているところもありました。全部で11校が合同でしているという報告を受けています。

恐らく一番学校数で多いところが、佐須っこ支援会議、佐須中学校をメインとし、阿連がなりましたけど3校、阿連まで入れたら3校、計4校で、支援会議を行っていたというのが最大で、今もこれが継続をされています。

こういった委員さんたちの地域の声を聞きながら、学校経営が行われているということを報告しておきます。

	以上でございます。
永留教育長	ほかに事務局から何か。
犬束課長補佐	<p>すみません。ちょっと私のほうから2点ほどお話をさせていただきます。</p> <p>まず1点目ですけれども、かねてからお話をしておりました会議録の公表につきまして、5月13日の第6回会議、それと、前回の6月1日の第7回会議分、この分から会議録の公表をホームページのほうで既に始めております。</p> <p>入り方としましては、対馬市のホームページに入っただきまして、行政情報というのがありますので、その中に教育という項目がございます。そこを開いていただければ、会議録が載っておりますので、御連絡をしておきます。</p> <p>それともう一点、机の上に配ってございましたけれども、御存じのとおり、長崎県市町村教育委員研究大会及び新任教育委員の研修会が、来年度、11月、対馬市のほうで開催予定となっております。</p> <p>それで、日程としましては2日間ということで、前日に新任教育委員の研修会、2日目に教育委員研究大会ということで開催されます。</p> <p>まだ、案の案でございますが、これは決定でございませませんが、場所としては、交流センターが適当かなと考えております。</p> <p>肝心の日程につきましては、早目に決めて、宿の手配等が必要かなと思われまますので、まずは御相談という形で、カレンダーをつけておりますけれども、例年の状況を見ますと、木・金の2日間で開催されているパターンが多いようです。</p> <p>そうなりますと、2・3日は3日が祝日で、23・24日は23日が祝日ということになりますので、9・10日か、16・17日かどちらかで決めたいなと思っております。</p> <p>御相談としまして、この時期は都合が悪いというような時期は、今の段階で言うのも非常にあれなんですけれども、ございましたら、ちょっとお聞きしておきたいなという思いがあったものですから。今のところは、もうこのどちらかで事務局一任ということで決めさせていただきますのでよろしいでしょうか。</p> <p>では、9・10日、もしくは16・17日ということで、事務局内でも相談をしながら決定をさせていただきますので、早目に、こう決まりましたということで連絡をさせていただきますので、よろし</p>

	<p>くお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
永留教育長	<p>はい。それでは、これが決まったら、それに合わせて予定を立てていただくということで進めたいと思います。</p> <p>じゃあ、委員さん方のほうから何か。</p>
吉野委員	<p>議会とか、前回も少しは聞いたんですが、峰競技場のトラック整備状況について、詳しく私たち聞いていないような気がするんですけども、できましたらよろしくお願いします。</p>
平江課長	<p>申しわけございません。</p> <p>峰陸上競技場につきましては、6月の補正予算で、やっと議会の承認を得たところでございます。</p> <p>改修工事につきましては、予算額〇〇円、うちスポーツ振興宝くじ、t o t o宝くじの助成費でございますが、これが〇〇万円いただくことになりました。残りの〇〇万円が過疎債で、一般財源が〇〇円の内訳によって、事業を実施いたします。</p> <p>これにつきましては、300メートルトラックが8レーン、それに走り幅跳び、トラックの中にあります棒高跳び、走り高跳びのピットを全天候型、ゴムチップのウレタン系の複合断熱舗装に改良いたします。</p> <p>そのほかのトラック内とフィールドにつきましては、トラックの外周でございますが、天然芝・高麗芝を張ります。これは、高麗芝が非常に見た目がきれいで繁殖率が強いということと、管理がしやすいということ。人工芝が一番いいわけですが、非常に金額が高いということで、天然芝にいたしました。</p> <p>また、それ以外の工事といたしましては、陸上競技場外周、西部中学校の境界、国道側も含めまして420メートルありますけれども、1.8メートルの高さの420メートルのフェンスの改修を行います。</p> <p>そのトラックの下の部分ですが、非常に水が下から湧き上って、なかなか雨天時には使用がしにくいということの難点がありましたので、トラックの下の中央に排水路を設けまして、そしてウレタンゴムチップにつきましては、表面は水を通さない。下のウレタンチップについては浸透性で、横に抜けやすいようなやり方で、結局、冬場に凍っても、水が横に抜けて膨れ上がらないようなやり方で、その方法で、その採用ということで、複合断性の舗装になります。</p> <p>この関係で、このトラックにつきましては、非常に柔軟性がある</p>

	<p>ということで、新記録自体は出にくいですがけれども、この小中学校の使用が多いということで、けがの心配が少ないという特性がございます。</p> <p>また、表面が非透水性ということで、水で流せるということになりますので、清掃面で非常にすぐれていると。</p> <p>それから、工事費自体の単価が、ポリウレタンに対しましては、比較的安く済むということでございます。長崎とか諫早の陸上競技場はポリウレタンですがけれども、やっぱり若干単価が高いということで、こちらのほうに決めさせていただきました。</p> <p>それから、維持経費につきまして、耐用年数につきましては、業者さんにもよって違うんですけれども、10年から20年と言われております。これにつきましても、やはり例えば使用頻度にもよりますし、また、冬場のその水分の状況、塩害、このようなもので耐用年数というのが非常に異なってきますので、大体が、15年前後は、このままで使えるだろうと言われております。</p> <p>芝の管理につきましても、大体、4月から9月までの管理で、大体60万から70万の管理でできるだろうと言われております。それにつきましては、新たにその天然芝ですので、トラクターの購入が必要ですし、また、随時、芝に関しましては、草刈り、肥料、除草剤、このような経費が出てまいりますけれども、年間100万あれば、管理ができるだろうと思います。</p> <p>それで、もう一つは、トラック8レーン、ラインが引かれているわけですがけれども、このラインにつきましても、本来、設置するラインを正式にやりますと、500万程度かかります。これが、大体5年に一度のレーンマーキングが必要ということになってくるんですけれども、このレーンマーキングにつきましても、天草のほうの300メートルトラックの実情を聞きますと、地元の塗装屋さんのほうで塗装して構わないと。4級の公認が受けられるということでございますので、比較的安価で済むだろうと思っております。</p> <p>概略は、以上のような8レーンの全天候型のトラックということになります。</p>
一宮委員	<p>すみません、関連で。もう決定ということで、補正予算もついたということで、これに発言しても何にもならないと思うんですけど、全天候で、しかも日本公認ということで、300トラックと400トラックの論議というのはなかったんですかね。</p>
平江課長	<p>はい、実行委員からございました。当然、やるなら400、私た</p>

	<p>ちもそう思います。しかしながら、400であるためには、今のグラウンドを使うためには、野球場を撤去しないといけない。もう一つは、二、三年前にできたトイレも撤去しなきゃいけない。</p> <p>そちらをしない場合には、西部中学校をどっかに移さないと、400メートルはとれない。</p>
一宮委員	学校の校舎まで入るんですね、敷地に。
平江課長	グラウンドです。
一宮委員	グラウンドですね。
平江課長	<p>ですから、そちらのほうでやらないと、その400メートルはとれない。それと、まず第1に、恐らく400になりますと、10億ぐらいかかります。</p> <p>企業を誘致したり、スポーツ合宿、企業を呼び込んで、陸上のその合宿等を得るためには、当然、400のほうがいいんですけども、そのような話も当然あったわけですが、設置委員会のところで話をした場合には、やはりどうしても、400をやろうということになると、学校の移転とか、野球場の撤去とかいうことを考え、また費用を考えたときに、委員会のほうで、やっぱりいろんなことを考えると、もう300で我慢するしかないんじゃないかならうかというのが結論です。</p>
永留教育長	<p>いろいろ難しい問題の中で、今の現状でベストな形で結論が出ていると思いますので、御理解いただきたいと思います。</p> <p>別件で、委員さん方のほうから何かありませんか。</p>
前野委員	教育長諸報告の中で、こども園の件が出たんですけど、ちょっと内容を少しお聞きしたいのと、もう近くなってきているんですけど、差し当たっての問題点があればお聞かせ願いたいのですが。
松本次長	<p>こども未来課との話の中で、基本的には、今回のこども園につきましては、幼稚園型のこども園に移行し、幼稚園主体のこども園になりますので、ほとんどの事務が教育委員会になります。</p> <p>しかし、保育士がいますので、保育士さんについては、こども未来課所属の保育士として、人事権については向こうが持つ形になります。</p> <p>あと一つは、保育所保育料の徴収があるんですけど、そこまでちょっと最終的に結論は出ていないんですけど、基本的に児童福祉法に基づく保育料については、福祉事務所が徴収することとなっていますので、その分を少し確認しとかないかんと考えておりますが、ほとんどの事務については教育委員会のほうでやっていくことになります。</p>

	<p>次に、問題点という、第二園庭をつくっておりますが、こども園について駐車場が足りないという話がされております。</p> <p>あと、施設の、子ども目線で見た時にいくつか足りないものがありましたので、それを少しずつあつかっている状態です。9月にはまず、幼稚園が入りますので、子どもの安全性を考えながらつくっていきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
前野委員	園長先生は、幼稚園の先生ですけど、勤務の時間が気になるのですが。
松本次長	園長先生の勤務時間が、基本的に5時間45分という時間になるんですね。その分について、昨年度から総務部と協議をやった中では、時間数を8時間にして給料を上げるとか、管理職レベルの方を事務職として置いてもらえないだろうかという話をしている途中です。まだ、そこもはっきりはしていませんけど、何とか手だてを打たなければいかんということは、お互い認識はしておりますので、また協議したいなと思います。
永留教育長	ほかに委員さんから何かありませんか。
	「なし」の声
永留教育長	では、本日の会議は、これで終了いたしますが、次回の会議日程の件で事務局からお願いします。
犬束課長補佐	失礼します。次回の会議につきまして、年間スケジュールでは7月29日の金曜日の予定としておりましたが、総務課と生涯学習課の事業が入っております、申し訳ありませんが、翌週の8月5日、金曜日の午後からこの会場で開催したいと考えております。皆様のご都合をお聞かせください。
永留教育長	事務局から、次回の会議日程の提案がありましたが、皆様のご都合はよろしいですか。
	「承諾」の声
永留教育長	<p>それでは、次回の会議を8月5日、金曜日に開催いたします。開始時間、場所等については、後日事務局から通知いたします。</p> <p>これで、本日の日程は、全部終了しましたので会議を閉じます。</p> <p>以上をもちまして、平成28年第8回教育委員会会議を閉会します。</p> <p>お疲れ様でした。</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委 員 (自署)

委 員 (自署)